

# ダイワ／シュロージャー・ グローバル高利回りCBファンド (限定追加型) 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	4年間(2012年5月17日～2016年5月16日)	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. シュロージャー・グローバルCBファンド Aコース(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)の受益証券(以下「シュロージャー・グローバルCBファンド Aコース」といいます。) ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. シュロージャー・グローバルCBファンド Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)の受益証券(以下「シュロージャー・グローバルCBファンド Bコース」といいます。) ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
運用方法	為替ヘッジあり	①主として、投資対象ファンドを通じて、魅力的な利回り水準を有する海外の転換社債(CB)に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、シュロージャー・グローバルCBファンド Aコースとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。シュロージャー・グローバルCBファンド Aコースへの投資割合を通常の状態と高位に維持することを基本とします。 ③シュロージャー・グローバルCBファンド Aコースでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
	為替ヘッジなし	①主として、投資対象ファンドを通じて、魅力的な利回り水準を有する海外の転換社債(CB)に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、シュロージャー・グローバルCBファンド Bコースとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。シュロージャー・グローバルCBファンド Bコースへの投資割合を通常の状態と高位に維持することを基本とします。 ③シュロージャー・グローバルCBファンド Bコースでは、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、配当等収益等を全額分配します。ただし、基準価額の水準等を勘案し、売買益等も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

## 運用報告書(全体版) 第3期 (決算日 2015年5月18日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ／シュロージャー・グローバル高利回りCBファンド(限定追加型)為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」は、このたび、第3期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3845>

<3846>

★ダイワ／シュローダー・グローバル高利回りCBファンド（限定追加型）為替ヘッジあり

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額				公社債組入比率	投資受組 資本金	信託証券 比率	純資産総額
	(分配落)	税分 込	み金 騰	期騰 落 中率				
	円		円		%		%	百万円
1 期末 (2013年 5 月 16日)	10,672		390	10.6	0.1		99.5	11,597
2 期末 (2014年 5 月 16日)	10,737		100	1.5	0.1		98.6	7,311
3 期末 (2015年 5 月 18日)	10,581		100	△ 0.5	0.1		99.2	6,006

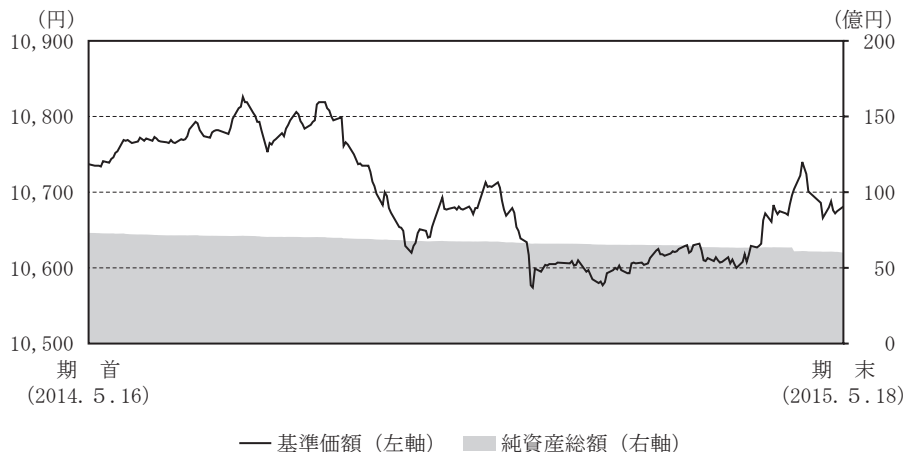
(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、投資対象ファンドを通じて信託期間内に償還日を迎えるCB（転換社債）に投資し、償還日まで保有することを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	公 社 債 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
(期首) 2014年 5月16日	円 10,737	% —	% 0.1	% 98.6
5月末	10,754	0.2	0.1	99.5
6月末	10,770	0.3	0.1	98.6
7月末	10,819	0.8	0.1	99.7
8月末	10,784	0.4	0.1	98.6
9月末	10,727	△0.1	0.1	99.5
10月末	10,662	△0.7	0.1	98.8
11月末	10,707	△0.3	0.1	99.1
12月末	10,607	△1.2	0.1	98.3
2015年 1月末	10,597	△1.3	0.1	99.5
2月末	10,625	△1.0	0.1	98.3
3月末	10,618	△1.1	0.1	99.4
4月末	10,724	△0.1	0.1	99.4
(期末) 2015年 5月18日	10,681	△0.5	0.1	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・騰落率】

期首：10,737円 期末：10,581円（分配金100円） 騰落率：△0.5%（分配金込み）

#### 【基準価額の主な変動要因】

海外のCB（転換社債）等に投資した結果、投資したCB等が小幅に値下がりしたことから、基準価額は値下がりしました。

### ◆投資環境について

#### ○グローバルCB市況

グローバルCB市況は上昇しました。米国の早期利上げ観測の強まりや世界経済の減速懸念から、2014年9月から10月中旬にかけて下落した場面があったものの、ECB（欧州中央銀行）の追加緩和期待や米国の良好な企業業績などから小幅上昇となりました。2015年に入ると、ECBが国債買い入れを伴う量的金融緩和策の導入を決定し、また新興国の多くの金融政策当局が金融緩和を実施したことが好感され、グローバルCB市況は上昇しました。特に中国の経済成長が減速する中、中国政府が金融緩和と財政出動による景気刺激などの施策を通じて積極的に景気を支える姿勢を示したことで、3月以降は特にアジア市場の上昇が顕著でした。

### ◆前期における「今後の運用方針」

シュローダー・グローバルCBファンド Aコース（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下、「シュローダー・グローバルCBファンド Aコース」といいます。）の受益証券への投資割合を通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、シュロダー・グローバルCBファンド Aコースとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当期は、シュロダー・グローバルCBファンド Aコースへの投資割合を高位に維持しました。

○シュロダー・グローバルCBファンド Aコース

魅力的な利回り水準を有する海外のCBに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。なお、投資対象CBは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなってきたため、償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、一部は残存期間の短い債券へ投資をしました。また、為替変動リスクを低減するために、為替ヘッジを行ないました。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

◆分配金について

【収益分配金】

当期の1万口当り分配金（税込み）は100円といたしました。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2014年5月17日 ～2015年5月18日	
当期分配金（税込み）（円）	100	
対基準価額比率（%）	0.94	
当 期 の 収 益（円）	—	
当 期 の 収 益 以 外（円）	100	
翌期繰越分配対象額（円）	636	

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

【決定根拠、留保益の今後の運用方針】

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	4.25
(d) 分配準備積立金	732.22
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	736.48
(f) 分配金	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	636.48

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

シュローダー・グローバルCBファンド Aコースとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、シュローダー・グローバルCBファンド Aコースへの投資割合を通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○シュローダー・グローバルCBファンド Aコース

魅力的な利回り水準を有する海外のCBに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。なお、投資対象CBは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなっていくと見られます。従って、今後償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、残存期間の短い債券などの組入比率が上昇することが想定されます。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2014. 5. 17～2015. 5. 18)		
	金 額	比 率	
信託報酬	125円	1.167%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は10,693円です。
（投信会社）	(41)	(0.380)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(81)	(0.760)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.008	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	126	1.175	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2014年5月17日から2015年5月18日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国	シュローダー・グローバルCBファンド Aコース (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	—	—	1,145,473.636	1,240,000
内					

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2014年5月17日から2015年5月18日まで)

決 算 期	当 期					
区 分	買付額等		うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等	
	A				C	うち利害関係人との取引状況D
公 社 債	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
	17,959	569	3.2	—	—	—
コール・ローン	400,987	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.2%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券	千口	千円	%
シュローダー・グローバルCBファンド Aコース (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	5,514,596.408	5,960,727	99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	7,009	7,009	7,036

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年5月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円	%
	5,960,727	97.5
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	7,036	0.1
コール・ローン等、その他	143,406	2.4
投資信託財産総額	6,111,170	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年5月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	6,111,170,243円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	143,406,650
投資信託受益証券(評価額)	5,960,727,257
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	7,036,336
(B) 負 債	104,788,196
未 払 収 益 分 配 金	56,764,024
未 払 解 約 金	10,349,978
未 払 信 託 報 酬	37,411,779
そ の 他 未 払 費 用	262,415
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	6,006,382,047
元 本	5,676,402,450
次 期 繰 越 損 益 金	329,979,597
(D) 受 益 権 総 額	5,676,402,450口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	10,581円

\*期首における元本額は6,810,337,378円、当期中における追加設定元本額は8,736,982円、同解約元本額は1,142,671,910円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,581円です。

■損益の状況

当期 自2014年5月17日 至2015年5月18日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	52,920,705円
受 取 配 当 金	52,879,767
受 取 利 息	40,938
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,925,815
売 買 益	4,358,979
売 買 損	△ 9,284,794
(C) 信 託 報 酬 等	△ 79,335,858
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 31,340,968
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	415,640,067
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,444,522
(配 当 等 相 当 額)	( 2,417,639)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 26,883)
(G) 合 計 (D + E + F)	386,743,621
(H) 収 益 分 配 金	△ 56,764,024
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	329,979,597
追 加 信 託 差 損 益 金	2,444,522
(配 当 等 相 当 額)	( 2,417,639)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 26,883)
分 配 準 備 積 立 金	358,876,043
繰 越 損 益 金	△ 31,340,968

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	2,417,639
(d) 分配準備積立金	415,640,067
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	418,057,706
(f) 分配金	56,764,024
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	361,293,682
(h) 受益権総口数	5,676,402,450口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	100円

- ＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、5月18日現在の基準価額（1万口当り10,581円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

#### 《お知らせ》

##### ●運用報告書（全体版）の電子交付について

2014年12月1日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の2種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に決めました。

##### ●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当しません。）には適用されなくなりました。

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】



★ダイワ／シュローダー・グローバル高利回りCBファンド（限定追加型）為替ヘッジなし

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			公社債 組入比	債率	投資 資金 組入	信託 証券 比率	純資 産額
		税金 分	込 配	み 金					
1 期末 (2013年 5 月 16 日)	円 13,567		円 500		% 40.7	% 0.1		% 98.0	百万円 2,156
2 期末 (2014年 5 月 16 日)	13,665		150		1.8	0.1		97.4	983
3 期末 (2015年 5 月 18 日)	15,098		200		12.0	0.1		98.8	936

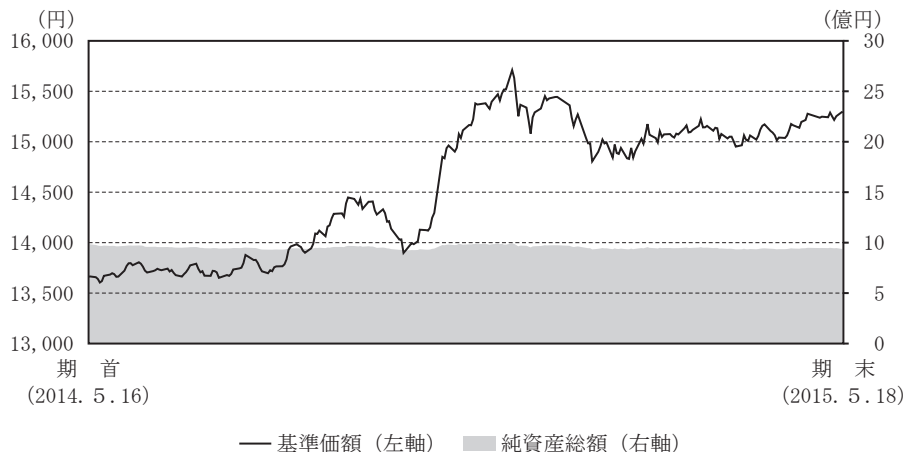
(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、投資対象ファンドを通じて信託期間内に償還日を迎えるCB（転換社債）に投資し、償還日まで保有することを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	公 社 債 率		投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	
			組 入 比	率	組 入 比	率
(期首) 2014年 5月16日	円 13,665	% -		% 0.1		% 97.4
5月末	13,664	△ 0.0		0.1		99.5
6月末	13,664	△ 0.0		0.1		97.9
7月末	13,878	1.6		0.1		99.4
8月末	13,900	1.7		0.1		99.1
9月末	14,406	5.4		0.1		99.3
10月末	14,295	4.6		0.1		99.7
11月末	15,396	12.7		0.1		99.2
12月末	15,444	13.0		0.1		98.0
2015年 1月末	14,938	9.3		0.1		98.2
2月末	15,072	10.3		0.1		98.7
3月末	15,063	10.2		0.1		97.8
4月末	15,215	11.3		0.1		98.4
(期末) 2015年 5月18日	15,298	12.0		0.1		98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・騰落率】

期首：13,665円 期末：15,098円（分配金200円） 騰落率：12.0%（分配金込み）

#### 【基準価額の主な変動要因】

海外のCB（転換社債）等に投資した結果、投資したCB等は小幅に値下がりしたものの、為替相場（主に米ドル円）が円安となったことから、基準価額は値上がりしました。

### ◆投資環境について

#### ○グローバルCB市況

グローバルCB市況は上昇しました。米国の早期利上げ観測の強まりや世界経済の減速懸念から、2014年9月から10月中旬にかけて下落した場面があったものの、ECB（欧州中央銀行）の追加緩和期待や米国の良好な企業業績などから小幅上昇となりました。2015年に入ると、ECBが国債買い入れを伴う量的金融緩和策の導入を決定し、また新興国の多くの金融政策当局が金融緩和を実施したことが好感され、グローバルCB市況は上昇しました。特に中国の経済成長が減速する中、中国政府が金融緩和と財政出動による景気刺激などの施策を通じて積極的に景気を支える姿勢を示したことで、3月以降は特にアジア市場の上昇が顕著でした。

#### ○為替相場

為替相場は、大幅な円安米ドル高となりました。米ドル円相場は、期首から2014年8月上旬まで、ほぼ横ばいで推移しました。8月中旬から9月末には、米国の早期利上げ観測が強まる中で米国の政府高官が米ドル高容認発言を行なったこともあり、大きく円安米ドル高となりました。10月上旬から中旬にかけては、世界景気の減速懸念や米ドル高が米国経済に及ぼす悪影響についての懸念が市場で広がり、円安幅を縮小する展開となりました。10月下旬から12月上旬までは、米

国の量的金融緩和終了の決定や日銀の予想外の追加金融緩和実施などから、急速かつ大幅に円安米ドル高が進行しました。12月中旬から期末にかけては、原油価格の急落などを受けたリスク回避姿勢の高まりによる円高圧力と、金利先高観による米ドル高圧力が交錯し、一進一退の推移となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

シュロダー・グローバルCBファンド Bコース（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下、「シュロダー・グローバルCBファンド Bコース」といいます。）の受益証券への投資割合を通常の状態を高位に維持することを基本とします。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、シュロダー・グローバルCBファンド Bコースとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当期は、シュロダー・グローバルCBファンド Bコースへの投資割合を高位に維持しました。

○シュロダー・グローバルCBファンド Bコース

魅力的な利回り水準を有する海外のCBに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。なお、投資対象CBは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなってきたため、償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、一部は残存期間の短い債券へ投資をしました。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

◆分配金について

【収益分配金】

当期の1万口当り分配金（税込み）は200円といたしました。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2014年5月17日 ～2015年5月18日	
当期分配金（税込み）（円）	200	
対基準価額比率（%）	1.31	
当期の収益（円）	200	
当期の収益以外（円）	—	
翌期繰越分配対象額（円）	5,097	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

【決定根拠、留保益の今後の運用方針】

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	208.80円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1,423.50
(c) 収益調整金	4.66
(d) 分配準備積立金	3,660.58
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	5,297.56
(f) 分配金	200.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	5,097.56

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

シュローダー・グローバルCBファンド Bコースとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、シュローダー・グローバルCBファンド Bコースへの投資割合を通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○シュローダー・グローバルCBファンド Bコース

魅力的な利回り水準を有する海外のCBに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。なお、投資対象CBは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなっていくと見られます。従って、今後償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、残存期間の短い債券などの組入比率が上昇することが想定されます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2014. 5. 17~2015. 5. 18)		
	金 額	比 率	
信託報酬	170円	1.167%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は14,556円です。
（投信会社）	(55)	(0.380)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(111)	(0.760)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(4)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.008	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	171	1.175	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2014年5月17日から2015年5月18日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	シュローダー・ グローバル CBファンド Bコース (為替ヘッジなし) (適格機関 投資家専用)	千口	千円	千口	千円
		—	—	93,013.029	138,000

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2014年5月17日から2015年5月18日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A		うち利害 関係人との 取引状況B B/A	売付額等 C		うち利害 関係人との 取引状況D D/C
公 社 債	百万円 17,959	百万円 569		% 3.2	百万円 —	
コール・ローン	400,987	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%  
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 シュローダー・グローバルCBファンド Bコース (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	千口 595,697.305	千円 924,998	% 98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 904	千円 904	千円 907

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年5月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 924,998	% 96.9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	907	0.1
コール・ローン等、その他	28,723	3.0
投資信託財産総額	954,629	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年5月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	954,629,819円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	28,723,297
投資信託受益証券(評価額)	924,998,775
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	907,747
(B) 負 債	17,961,560
未 払 収 益 分 配 金	12,408,241
未 払 信 託 報 酬	5,514,713
そ の 他 未 払 費 用	38,606
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	936,668,259
元 本	620,412,078
次 期 繰 越 損 益 金	316,256,181
(D) 受 益 権 総 口 数	620,412.078口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	15,098円

\* 期首における元本額は719,875,299円、当期中における追加設定元本額は493,193円、同解約元本額は99,956,414円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,098円です。

■損益の状況

当期 自2014年5月17日 至2015年5月18日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	14,386,152円
受 取 配 当 金	14,378,559
受 取 利 息	7,593
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	98,077,151
売 買 益	104,835,248
売 買 損	△ 6,758,097
(C) 信 託 報 酬 等	△ 11,192,642
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	101,270,661
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	227,107,373
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	286,388
(配 当 等 相 当 額)	( 289,498)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,110)
(G) 合 計 (D + E + F)	328,664,422
(H) 収 益 分 配 金	△ 12,408,241
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	316,256,181
追 加 信 託 差 損 益 金	286,388
(配 当 等 相 当 額)	( 289,498)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,110)
分 配 準 備 積 立 金	315,969,793

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	12,954,822円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	88,315,839
(c) 収益調整金	289,498
(d) 分配準備積立金	227,107,373
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	328,667,532
(f) 分配金	12,408,241
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	316,259,291
(h) 受益権総口数	620,412,078口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	200円

- ＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、5月18日現在の基準価額（1万口当り15,098円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

#### 《お知らせ》

- 運用報告書（全体版）の電子交付について  
2014年12月1日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の2種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に決めました。
- 書面決議手続きの改正について  
重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。
  - ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
  - ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
  - ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当しません。）には適用されなくなりました。

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】

〈補足情報〉

当ファンド（ダイワ／シュローダー・グローバル高利回りCBファンド（限定追加型）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2014年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2015年5月18日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を15ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

（2014年5月17日から2015年5月18日まで）

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
520	国庫短期証券 2015/6/22	2,999,976			
512	国庫短期証券 2015/5/18	1,799,994			
532	国庫短期証券 2015/8/17	1,500,000			
516	国庫短期証券 2015/6/8	1,499,993			
496	国庫短期証券 2015/3/9	1,099,998			
491	国庫短期証券 2015/5/14	999,999			
515	国庫短期証券 2015/6/1	999,999			
438	国庫短期証券 2015/3/20	999,998			
500	国庫短期証券 2015/3/23	999,997			
518	国庫短期証券 2015/6/15	999,995			

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年5月18日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（16,631,064千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2015年5月18日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国 債 証 券	千円 10,000,000	千円 9,999,944	% 59.9	% —	% —	% —	% —	% 59.9

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年5月18日現在							
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	515	国庫短期証券	%	千円 1,000,000	千円 999,999	2015/06/01	
	516	国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,995	2015/06/08	
	518	国庫短期証券	—	1,000,000	999,998	2015/06/15	
	520	国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,989	2015/06/22	
	521	国庫短期証券	—	1,000,000	999,976	2015/06/29	
	522	国庫短期証券	—	1,000,000	999,983	2015/07/06	
	532	国庫短期証券	—	1,500,000	1,500,000	2015/08/17	
合 計	銘 柄 数	7銘柄		10,000,000	9,999,944		
	金 額						

（注）単位未満は切捨て。



# ダイワ・マネースtock・マザーファンド

## 運用報告書 第5期（決算日 2014年12月9日）

（計算期間 2013年12月10日～2014年12月9日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

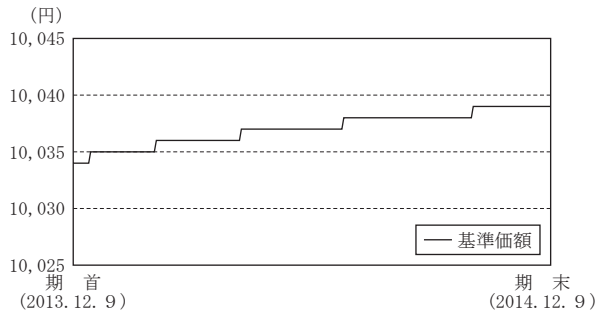
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率		公 社 債 債 務 組 入 比 率 %
		騰 落 率	%	
(期首) 2013年12月9日	10,034	-	-	69.6
12月末	10,035	0.0	0.0	63.0
2014年1月末	10,035	0.0	0.0	70.9
2月末	10,036	0.0	0.0	65.8
3月末	10,036	0.0	0.0	67.1
4月末	10,037	0.0	0.0	69.1
5月末	10,037	0.0	0.0	69.1
6月末	10,037	0.0	0.0	67.6
7月末	10,038	0.0	0.0	72.5
8月末	10,038	0.0	0.0	73.1
9月末	10,038	0.0	0.0	68.8
10月末	10,039	0.0	0.0	64.6
11月末	10,039	0.0	0.0	64.6
(期末) 2014年12月9日	10,039	0.0	0.0	58.5

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,034円 期末：10,039円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。また、2014年10月末には追加金融緩和を実施し、長期国債を中心とする資産買い入れを一層拡大しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場ではおおむね低位での金利水準が続き、無担保コール翌日物金利は0.06%台を中心に推移しました。国庫短期証券(3カ月物)の利回りは0.06%程度で始まりましたが、日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.01%程度まで低下して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引続き、資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

国 内	買 付 額 千円	売 付 額 千円
	2,599,774	(2,690,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額 千円	銘 柄	金 額 千円
464 国庫短期証券 2015/1/14	149,999		
419 国庫短期証券 2014/12/22	99,999		
477 国庫短期証券 2014/12/8	99,996		
475 国庫短期証券 2014/11/25	99,992		
454 国庫短期証券 2014/8/25	99,990		
433 国庫短期証券 2014/5/26	99,988		
493 国庫短期証券 2015/2/23	89,998		
473 国庫短期証券 2014/11/17	79,995		
452 国庫短期証券 2014/8/18	79,991		
431 国庫短期証券 2014/5/19	79,991		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債 (種類別)

区 分	当 期			期 末		
	額面金額 千円	評 価 額 千円	組入比率 %	うちB以下 格以下 組入比率	残存期間別組入比率	5年以上 2年以上 2年未満
国 債 証 券	480,000	479,995	58.5	-	-	-

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期		末	
		年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	479 国庫短期証券	%	千円 70,000	千円 69,999	2014/12/15
	419 国庫短期証券	—	100,000	99,999	2014/12/22
	464 国庫短期証券	—	150,000	149,999	2015/01/14
	490 国庫短期証券	—	70,000	69,997	2015/02/09
	493 国庫短期証券	—	90,000	89,998	2015/02/23
合計	銘柄数 5銘柄		480,000	479,995	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	率
公 社 債	千円 479,995	% 58.5	千円 479,995	% 58.5
コーポレートローン等、その他	340,319	41.5	340,319	41.5
投資信託財産総額	820,315	100.0	820,315	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資 産	820,315,287円	820,315,287円
公 社 債	479,995	479,995
コーポレートローン等	340,319,449	340,319,449
(B) 負 債	—	—
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	820,315,287	820,315,287
元 本	817,136,908	817,136,908
次 期 繰 越 損 益 金	3,178,379	3,178,379
(D) 受 取 信 託 差 損 益 金	817,136,908円	817,136,908円
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	10,039円	10,039円

\* 期首における元本額は815,881,793円、当期中における追加設定元本額は358,153,378円、同解約元本額は356,898,263円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）998円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジあり）112,594,660円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジなし）73,734,556円、ダイワ米国バンクロン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクロン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクロン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-11 9,962円、新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ファンド（為替ヘッジあり/毎月決算型）999円、アジア高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり/毎月決算型）999円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Aコース4,988,527円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Bコース2,494,264円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Cコース999,197円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Aコース698,255円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Bコース458,853円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Aコース1,994,416円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Bコース648,186円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Cコース179,498円、世界優先証券ファンド（為替ヘッジあり/限定追加型）998円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり/毎月決算型）3,988,832円、U S短期高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり/年1回決算型）4,984円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回りCBファンド（限定追加型）為替ヘッジあり7,009,001円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回りCBファンド（限定追加型）為替ヘッジなし904,221円、ダイワ/モルガン・スタンレー・新興4カ国不動産関連ファンド - 成長の福音（つちおと）- 11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ277,939,483円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ155,681,197円、ダイワ米国高利回り不動産証券ファンド19,942,168円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース（毎月分配型）4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・

コース（毎月分配型）4,981,569円、ダイワU S短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり/年1回決算型）199,295円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし（毎月分配型）99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース（毎月分配型）99,771円、ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジあり）20,016,725円、ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジなし）4,000,959円、ダイワ/ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド49,850,449円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）- ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）- ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース（毎月分配型）99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）- ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）- ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）- ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース2,492,026円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース19,936,205円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース11,961,723円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,039円です。

■損益の状況

当期 自2013年12月10日 至2014年12月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	423,234円
受 取 利 息	423,234
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,048
売 買 損 益	2,048
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	425,282
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	2,803,343
(E) 解 約 差 損 益 金	△1,321,868
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,271,622
(G) 合 計 (C+D+E+F)	3,178,379
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	3,178,379

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・ 書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・ 投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・ 書面決議に反対した受益者による受益権買戻請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（転換社債）	
信託期間	2012年5月18日から2016年5月13日まで	
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュロージャー・グローバルCBマザーファンド受益証券とします。ただし、市況動向等によっては、転換社債等に直接投資することもあります。
	シュロージャー・グローバルCBマザーファンド	海外の転換社債を主な投資対象とします。
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	制限を設けません。
	マザーファンドの株式および外貨建資産の組入上限比率	株式の投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎年3月15日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に、原則として利子・配当等収入と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市況場動向等を勘案しながら決定します。なお、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わない場合があります。	

# シュロージャー・グローバル CBファンド

Aコース（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）／  
Bコース（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

## 第3期 運用報告書(全体版)

（決算日 2015年3月16日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュロージャー・グローバルCBファンド Aコース（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）／Bコース（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、2015年3月16日に第3期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日は除く)



# Schroders

シュロージャー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3  
丸の内トラストタワー本館21階

Aコース (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債組入比率	純資産額
		税金	騰落	騰落率			
(設定日)	円	円		%	%	%	百万円
2012年5月18日	10,000	—		—	—	—	16,260
1期(2013年3月15日)	10,612	458		10.7	98.2	—	12,066
2期(2014年3月17日)	10,739	200		3.1	88.7	—	7,370
3期(2015年3月16日)	10,713	90		0.6	63.1	27.7	6,294

(注1) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債(転換社債)組入比率は実質組入比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	標準価額		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債組入比率	騰落率	騰落率
		騰落	騰落率				
(期首)	円		%	%	%	%	%
2014年3月17日	10,739		—	88.7	—	—	—
3月末	10,755		0.1	89.3	—	—	—
4月末	10,785		0.4	92.8	—	—	—
5月末	10,849		1.0	93.6	—	—	—
6月末	10,876		1.3	88.3	—	—	—
7月末	10,937		1.8	89.6	—	—	—
8月末	10,911		1.6	92.3	—	—	—
9月末	10,864		1.2	95.8	0.7	—	—
10月末	10,809		0.7	90.1	2.2	—	—
11月末	10,865		1.2	94.3	4.4	—	—
12月末	10,774		0.3	79.9	11.5	—	—
2015年1月末	10,775		0.3	71.9	18.3	—	—
2月末	10,814		0.7	66.0	22.0	—	—
(期末)							
2015年3月16日	10,803		0.6	63.1	27.7	—	—

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債(転換社債)組入比率は実質組入比率を記載しております。

当ファンドはベンチマークおよび参考指数はございません。

Bコース (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 込配 分金	騰落 率			
(設定日)	円	円	%	%	%	百万円
2012年5月18日	10,000	—	—	—	—	4,099
1期(2013年3月15日)	12,859	548	34.1	94.5	—	2,208
2期(2014年3月17日)	13,760	260	9.0	91.4	—	987
3期(2015年3月16日)	15,302	240	13.0	63.6	28.0	921

(注1) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債(転換社債)組入比率は実質組入比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債組入比率	券率
	騰落率	騰落率			
(期首)	円	%	%	%	%
2014年3月17日	13,760	—	91.4	—	—
3月末	13,980	1.6	90.8	—	—
4月末	13,988	1.7	93.3	—	—
5月末	13,917	1.1	95.1	—	—
6月末	13,930	1.2	90.0	—	—
7月末	14,165	2.9	89.0	—	—
8月末	14,201	3.2	91.2	—	—
9月末	14,738	7.1	96.1	0.7	0.7
10月末	14,637	6.4	90.6	2.2	2.2
11月末	15,787	14.7	88.3	4.1	4.1
12月末	15,855	15.2	79.3	11.4	11.4
2015年1月末	15,340	11.5	73.7	18.8	18.8
2月末	15,495	12.6	67.2	22.4	22.4
(期末)					
2015年3月16日	15,542	13.0	63.6	28.0	28.0

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債(転換社債)組入比率は実質組入比率を記載しております。

当ファンドはベンチマークおよび参考指数はございません。

## 当期中の運用経過等

(2014年3月18日から2015年3月16日まで)

### <当期の投資環境・運用概況>

#### 市況について

[各CB市場について、米ドルベース (為替ヘッジあり) の騰落率に基づきご説明いたします。]

当期、グローバルCB市場は上昇しました。

地域別では、米国CB市場は上昇しましたが、グローバルCB市場の上昇幅を若干下回りました。欧州CB市場は上昇し、グローバルCB市場の上昇幅を若干上回りました。アジア (除く日本) CB市場の上昇幅は米国、欧州CB市場に及びませんでした。

米国CB市場は、2014年10月に国際通貨基金 (IMF) が世界経済の成長率予測を下方修正したことなどを背景に大きく下落する局面もありましたが、好調な米経済指標などを背景に概ね堅調に推移しました。

欧州CB市場は、ユーロ圏の低成長・低インフレを示す経済指標などが重荷となり、2014年6月から10月にかけて下落基調を辿りましたが、その後、欧州中央銀行 (ECB) による量的金融緩和策の導入観測や2015年1月の導入発表などが好感され、期末にかけて大きく値を戻しました。

アジアCB市場 (除く日本) は、中国の景気減速や不動産市場の冷え込みを示す経済指標などが重荷となりましたが、中国政府による断続的な景気刺激策の実施、中国人民銀行 (中央銀行) による利下げの発表や追加緩和観測などが好感され、底堅く推移しました。しかし、期首比での同市場の上昇幅は米国、欧州CB市場に及びませんでした。

為替相場は当期、円安米ドル高が進行しました。期初から2014年8月にかけては、手掛かりが乏しくもみ合う展開が続きましたが、同年10月末に日銀が予想外の追加金融緩和策を発表すると、急激に円安米ドル高が進行しました。その後も、堅調な米経済指標を背景に米連邦準備制度理事会 (FRB) による利上げが意識され始めるなか、金融政策の方向性の違いによる日米金利差の拡大観測などを背景に、円安米ドル高基調が続きました。

#### 運用について

キャッシュフロー管理のため保有銘柄の一部売却を行いました。設定来の運用方針に変更はなく、信用力の高い銘柄を中心とし、地域やセクターが分散されたポートフォリオを維持しました。

当期の基準価額とその変動要因について

<基準価額>

Aコース (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)



\* 期末基準価額は分配金込み。

	期首	期中最安値	期中最高値	期	末
					騰落率 (期首比)
基準価額 (期末は分配金込み)	円	円	円	円	%
	10,739	10,736	10,950	10,803	0.6

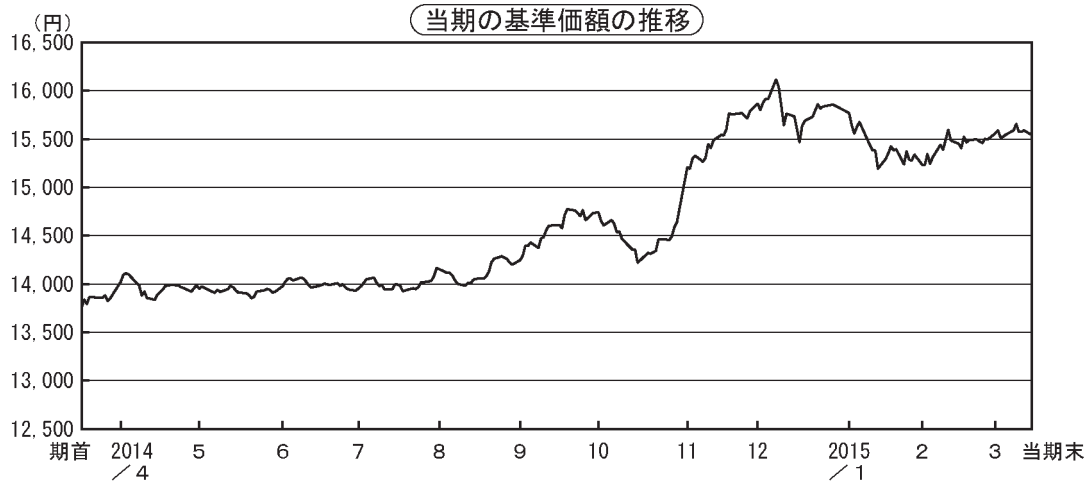
\* 基準価額の騰落率は、小数第2位を四捨五入しております。

基準価額変動

期首10,739円でスタートした基準価額は10,803円 (分配金込み) で当期末を迎え、期首比0.6%の上昇となりました。



Bコース (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)



\* 期末基準価額は分配金込み。

	期首	期中最安値	期中最高値	期	末
					騰落率 (期首比)
基準価額 (期末は分配金込み)	円	円	円	円	%
	13,760	13,760	16,118	15,542	13.0

\* 基準価額の騰落率は、小数第2位を四捨五入しております。

基準価額変動

期首13,760円でスタートした基準価額は15,542円(分配金込み)で当期末を迎え、期首比13.0%の上昇となりました。

## 基準価額変動の主な要因

米国、欧州、アジアの各市場によって上昇幅に違いが見られたものの、グローバルCB市場は全体として上昇し、当ファンドの基準価額は上昇しました。

## <収益分配金>

当期の収益分配金は、基準価額の水準等を考慮し、Aコースは90円、Bコースは240円とさせていただきます(両コースともに1万口当たり、税込み)。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

Aコース(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期
	2014年3月18日～ 2015年3月16日
当期分配金	90
(対基準価額比率)	0.833%
当期の収益	90
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	746

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期
	2014年3月18日～ 2015年3月16日
当期分配金	240
(対基準価額比率)	1.544%
当期の収益	240
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,304

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <今後の見通しと運用方針>

グローバルCB市場の中では、アジアCB市場が米国や欧州のCB市場に出遅れてきました。その結果、アジアCB市場の割安感が高まりつつあると考えられます。ただし景気は米国、欧州、アジアでバラつきがあり、短期的には米国・欧州・アジアの各CB市場では曲折が予想されます。

原油価格の下落がユーロ圏をはじめとして世界各国のインフレ指標を引き下げっていますが、原油価格は低水準に留まる限り、経済を刺激する材料になり得るとも考えられます。米国が量的金融緩和策を終了したとはいえ、グローバルの市場には大量のマネーが供給されており、株式市場にとって好環境が継続すると期待されます。そしてそれはCBにとって好材料となり得ます。ただし上昇相場が継続した後だけに、市場の調整を含め、ボラティリティ(変動性)が高まる局面が予想されます。

なお、当ファンドの投資対象CBは2016年5月までに償還もしくはブット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなっています。したがって今後売却、償還あるいはブットの行使などによって得られたキャッシュの再投資先として、短期国債の組入比率が上昇することが想定されます。

Aコース (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

○ 1万口当たりの費用明細

(2014年3月18日～2015年3月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	円 85 (81) ( 1 ) ( 3 )	% 0.786 (0.754) (0.005) (0.027)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率  ・ファンドの運用判断、委託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書・有価証券報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等  ・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等  ・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 費 用 ) ( そ の 他 )	8 ( 2 ) ( 2 ) ( 4 ) ( 0 )	0.075 (0.021) (0.021) (0.033) (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用  ・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用  ・その他は、グローバルな取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) 登録費用
合 計	93	0.861	
期中の平均基準価額は、10,834円です。			

(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年3月18日～2015年3月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千口 181,600	千円 283,429	千口 1,348,820	千円 2,143,524

(注) 単位未満は切捨て。

Aコース (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

○株式売買比率

(2014年3月18日～2015年3月16日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	2,599千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	—千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	—	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2014年3月18日～2015年3月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年3月16日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	4,938,389千口	3,771,168千口	6,366,109千円

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2015年3月16日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	6,366,109千円	96.9%
コール・ローン等、その他	201,074	3.1
投資信託財産総額	6,567,183	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) シュローダー・グローバルCBマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(7,111,822千円)の投資信託財産総額(7,305,868千円)に対する比率は97.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=121.40円、1ユーロ=127.41円、1香港ドル=15.63円、1シンガポールドル=87.23円です。

Aコース (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年3月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,592,228,926
シュローダー・グローバルCBマザーファンド(評価額)	6,366,109,652
未収入金	6,226,119,274
(B) 負債	6,297,973,589
未払金	6,217,726,292
未払収益分配金	52,879,766
未払信託報酬	25,613,297
その他未払費用	1,754,234
(C) 純資産総額(A-B)	6,294,255,337
元本	5,875,529,648
次期繰越損益金	418,725,689
(D) 受益権総口数	5,875,529,648口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,713円

[元本増減]

期首元本額	6,863,900,639円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	988,370,991円

○損益の状況 (2014年3月18日～2015年3月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	95,205,805
売買益	1,322,575,050
売買損	△1,227,369,245
(B) 信託報酬等	△ 57,678,307
(C) 当期損益金(A+B)	37,527,498
(D) 前期繰越損益金	434,107,070
(E) 追加信託差損益金	△ 29,113
(配当等相当額)	( 52,111)
(売買損益相当額)	(△ 81,224)
(F) 計(C+D+E)	471,605,455
(G) 収益分配金	△ 52,879,766
次期繰越損益金(F+G)	418,725,689
追加信託差損益金	△ 29,113
(配当等相当額)	( 52,111)
(売買損益相当額)	(△ 81,224)
分配準備積立金	438,843,926
繰越損益金	△ 20,089,124

- (注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(57,616,622円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(52,111円)および分配準備積立金(434,107,070円)より分配対象収益は491,775,803円(10,000口当たり836円)であり、うち52,879,766円(10,000口当たり90円)を分配金額としております。

\*当ファンドは、マザーファンドにおいて外貨建資産等の運用の指図権限をフィッシュ・アセット・マネージメントAGに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

Aコース (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金 (税込み)	90円
------------------	-----

### <お知らせ>

「投資信託及び投資法人に関する法律」の改正に伴い、法令適合性を維持する等の目的で2014年12月1日付けで信託約款に所要の変更を行い、「運用報告書 (全体版)」とこれに記載すべき事項のうち重要なものを記載した「交付運用報告書」の2種類を作成致しております。

Bコース (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

○ 1万口当たりの費用明細

(2014年3月18日～2015年3月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	円 115 (110) ( 1 ) ( 4 )	% 0.786 (0.754) (0.005) (0.027)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率  ・ファンドの運用判断、委託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書・有価証券報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等  ・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等  ・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 費 用 ) ( そ の 他 )	11 ( 3 ) ( 3 ) ( 5 ) ( 0 )	0.075 (0.021) (0.022) (0.031) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用  ・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用  ・その他は、グローバルな取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) 登録費用
合 計	126	0.861	
期中の平均基準価額は、14,669円です。			

(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年3月18日～2015年3月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 125,152	千円 195,660

(注) 単位未満は切捨て。

Bコース (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

○株式売買比率

(2014年3月18日～2015年3月16日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	2,599千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	—千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	—	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2014年3月18日～2015年3月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年3月16日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千口 681,858	千口 556,705	千円 939,774

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2015年3月16日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千円 939,774	% 100.0
投資信託財産総額	939,774	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) シュローダー・グローバルCBマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(7,111,822千円)の投資信託財産総額(7,305,868千円)に対する比率は97.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=121.40円、1ユーロ=127.41円、1香港ドル=15.63円、1シンガポールドル=87.23円です。



Bコース (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年3月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	939,774,188
シュロダー・グローバルCBマザーファンド(評価額)	939,774,188
(B) 負債	18,370,420
未払収益分配金	14,451,804
未払信託報酬	3,667,520
その他未払費用	251,096
(C) 純資産総額(A - B)	921,403,768
元本	602,158,506
次期繰越損益金	319,245,262
(D) 受益権総口数	602,158,506口
1万口当たり基準価額(C / D)	15,302円

[元本増減]	
期首元本額	717,455,798円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	115,297,292円

○損益の状況 (2014年3月18日～2015年3月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	115,233,610
売買益	124,529,029
売買損	△ 9,295,419
(B) 信託報酬等	△ 7,974,623
(C) 当期損益金(A + B)	107,258,987
(D) 前期繰越損益金	222,679,530
(E) 追加信託差損益金	3,758,549
(配当等相当額)	( 3,923,459)
(売買損益相当額)	(△ 164,910)
(F) 計(C + D + E)	333,697,066
(G) 収益分配金	△ 14,451,804
次期繰越損益金(F + G)	319,245,262
追加信託差損益金	3,758,549
(配当等相当額)	( 3,923,459)
(売買損益相当額)	(△ 164,910)
分配準備積立金	315,486,713

- (注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(14,861,431円)、費用控除後の有価証券等損益額(92,397,556円)、信託約款に規定する収益調整金(3,923,459円)および分配準備積立金(222,679,530円)より分配対象収益は333,861,976円(10,000口当たり5,544円)であり、うち14,451,804円(10,000口当たり240円)を分配金額としております。

\*当ファンドは、マザーファンドにおいて外貨建資産等の運用の指図権限をフィッシュ・アセット・マネージメントAGに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	240円
------------------	------

### <お知らせ>

「投資信託及び投資法人に関する法律」の改正に伴い、法令適合性を維持する等の目的で2014年12月1日付けで信託約款に所要の変更を行い、「運用報告書 (全体版)」とこれに記載すべき事項のうち重要なものを記載した「交付運用報告書」の2種類を作成致しております。

〈シュローダー・グローバルCBマザーファンド 第3期〉

【計算期間 2014年3月18日から2015年3月16日まで】

信託期間	2012年5月18日から2016年5月12日まで	
決算日	毎年3月15日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。	
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	海外の転換社債を主な投資対象とします。	
組入制限	株 式	株式の投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	外貨建資産	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債券 組入比率	純総 資産 率	純資 産額
	円	騰落率				
(設定日) 2012年5月18日	10,000	—	—	—	—	百万円 20,359
1期(2013年3月15日)	13,488	34.9	90.4	—	—	15,406
2期(2014年3月17日)	14,825	9.9	89.3	—	—	8,332
3期(2015年3月16日)	16,881	13.9	62.4	27.4	—	7,305

(注) 基準価額は1万口当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債券 組入比率	債券 率
	円	騰落率			
(期首) 2014年3月17日	14,825	—	89.3	—	—
3月末	15,066	1.6	90.7	—	—
4月末	15,085	1.8	93.2	—	—
5月末	15,019	1.3	95.0	—	—
6月末	15,044	1.5	89.8	—	—
7月末	15,308	3.3	88.7	—	—
8月末	15,357	3.6	90.9	—	—
9月末	15,948	7.6	96.1	—	0.7
10月末	15,850	6.9	90.5	—	2.2
11月末	17,104	15.4	88.2	—	4.1
12月末	17,191	16.0	79.1	—	11.4
2015年1月末	16,645	12.3	73.5	—	18.7
2月末	16,824	13.5	67.0	—	22.3
(期末) 2015年3月16日	16,881	13.9	62.4	27.4	—

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 騰落率は期首比。

当ファンドはベンチマークおよび参考指数はございません。

## 当期中の運用経過等

(2014年3月18日から2015年3月16日まで)

## &lt;当期の投資環境・運用概況&gt;

## 市況について

[各CB市場について、米ドルベース（為替ヘッジあり）の騰落率に基づきご説明いたします。]

当期、グローバルCB市場は上昇しました。

地域別では、米国CB市場は上昇しましたが、グローバルCB市場の上昇幅を若干下回りました。欧州CB市場は上昇し、グローバルCB市場の上昇幅を若干上回りました。アジアCB市場（除く日本）の上昇幅は米国、欧州CB市場に及びませんでした。

米国CB市場は、2014年10月に国際通貨基金（IMF）が世界経済の成長率予測を下方修正したことなどを背景に大きく下落する局面もありましたが、好調な米経済指標などを背景に概ね堅調に推移しました。

欧州CB市場は、ユーロ圏の低成長・低インフレを示す経済指標などが重荷となり、2014年6月から10月にかけて下落基調を辿りましたが、その後、欧州中央銀行（ECB）による量的金融緩和策の導入観測や2015年1月の導入発表などが好感され、期末にかけて大きく値を戻しました。

アジアCB市場（除く日本）は、中国の景気減速や不動産市場の冷え込みを示す経済指標などが重荷となりましたが、中国政府による断続的な景気刺激策の実施、中国人民銀行（中央銀行）による利下げ発表や追加緩和観測などが好感され、底堅く推移しました。しかし、期首比での同市場の上昇幅は米国、欧州CB市場に及びませんでした。

為替相場は当期、円安米ドル高が進行しました。期初から2014年8月にかけては、手掛かりが乏しくもみ合う展開が続きましたが、同年10月末に日銀が予想外の追加金融緩和策を発表すると、急激に円安米ドル高が進行しました。その後も、堅調な米経済指標を背景に米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げが意識され始めるなか、金融政策の方向性の違いによる日米金利差の拡大観測などを背景に、円安米ドル高基調が続きました。

## 運用について

キャッシュフロー管理のため保有銘柄の一部売却を行いました。設定来の運用方針に変更はなく、信用力の高い銘柄を中心とし、地域やセクターが分散されたポートフォリオを維持しました。

当期の基準価額とその変動要因について

<基準価額>



	期首	期中最安値	期中最高値	期	末
					騰落率 (期首比)
基準価額	円 14,825	円 14,825	円 17,466	円 16,881	% 13.9

\* 基準価額の騰落率は、小数第2位を四捨五入しております。

基準価額変動

期首14,825円でスタートした基準価額は16,881円で当期末を迎え、期首比13.9%の上昇となりました。

### 基準価額変動の主な要因

米国、欧州、アジアの各市場によって上昇幅に違いが見られたものの、グローバルCB市場は全体として上昇し、当ファンドの基準価額は上昇しました。

### ＜今後の見通しと運用方針＞

グローバルCB市場の中では、アジアCB市場が米国や欧州のCB市場に出遅れてきました。その結果、アジアCB市場の割安感が高まりつつあると考えられます。ただし景気は米国、欧州、アジアでバラつきがあり、短期的には米国・欧州・アジアの各CB市場では曲折が予想されます。

原油価格の下落がユーロ圏をはじめとして世界各国のインフレ指標を引き下げっていますが、原油価格は低水準に留まる限り、経済を刺激する材料になり得るとも考えられます。米国が量的金融緩和策を終了したとはいえ、グローバルの市場には大量のマネーが供給されており、株式市場にとって好環境が継続すると期待されます。そしてそれはCBにとって好材料となり得ます。ただし上昇相場が継続した後だけに、市場の調整を含め、ボラティリティ（変動性）が高まる局面が予想されます。

なお、当ファンドの投資対象CBは2016年5月までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなっています。したがって今後売却、償還あるいはプットの行使などによって得られたキャッシュの再投資先として、短期国債の組入比率が上昇することが想定されま

○1万口当たりの費用明細

(2014年3月18日～2015年3月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 3	% 0.021	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.021)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI:Legal Entity Identifier）登録費用
合 計	3	0.021	
期中の平均基準価額は、15,870円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年3月18日～2015年3月16日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	イタリア	— (11,790)	— (18)	11,790	18

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分です。



新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
外	アメリカ	千米ドル 12,700	千米ドル 12,857	千米ドル 11,800 (10,100)	千米ドル 13,049 (10,246)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	イタリア	1,000	1,084	— ( —)	— ( 18)
	オランダ	—	—	— ( 3,400)	— ( 3,400)
	ベルギー	908	945	—	—
	ルクセンブルク	—	—	400	394
国	オーストラリア	千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル 4,800 ( 1,700)	千オーストラリアドル 4,925 ( 1,700)
	香港	千香港ドル 18,000	千香港ドル 18,173	千香港ドル 44,000 (20,000)	千香港ドル 44,198 (25,674)
	シンガポール	千シンガポールドル 3,750	千シンガポールドル 3,902	千シンガポールドル 4,000	千シンガポールドル 4,254
	中国	千中国元 —	千中国元 —	千中国元 13,000 (25,000)	千中国元 13,500 (25,000)

(注1) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( )内は予約権行使・償還等による増減分、上段の数字には含まれておりません。

公社債

		買 付 額	売 付 額
外国	アメリカ	千米ドル 16,512	千米ドル —
	国債証券		

(注1) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2014年3月18日～2015年3月16日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	2,599千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	—千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	—

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2014年3月18日～2015年3月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年3月16日現在)

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘	柄	当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル	千円
CHESAPEAKE CB 2.75%		1,500	1,497	181,758
NEWFORD CAPITAL CB 0%		3,000	3,255	395,157
PB ISSUER NO2 CB 1.75%		1,400	1,358	164,861
AU OPTRONICS CB 0%		600	679	82,491
BILLION EXP CB 0.75%		3,000	3,024	367,204
ACER CB 0%		2,000	2,190	265,866
ARES CAPITAL CB 5.75%		2,000	2,068	251,146
TPK HOLDING COMPANY CONB		500	491	59,713
GOLDEN AGRI RES CB 2.5%		1,000	981	119,123
LUKOIL INTL FINANCE CB		1,500	1,479	179,641
FAR EASTERN BK CB 0%		2,000	1,971	239,352
小 計	額 面 金 額	18,500	18,997	2,306,316
	銘 柄 数 < 比 率 >	11	—	< 31.6% >
(ユーロ・・・イタリア)		千ユーロ	千ユーロ	千円
BENISTABILI CB 3.875%		1,000	1,002	127,728
ENI SPA REGS CB 0.625%		2,000	2,176	277,244
小 計	額 面 金 額	3,000	3,178	404,972
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	< 5.5% >
(ユーロ・・・オランダ)		千ユーロ	千ユーロ	千円
WERELDHAVE CB 2.875%		2,700	2,754	350,887
小 計	額 面 金 額	2,700	2,754	350,887
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	< 4.8% >
(ユーロ・・・ベルギー)		千ユーロ	千ユーロ	千円
COFINIMMO CONB 3.125		908	949	120,939
小 計	額 面 金 額	908	949	120,939
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	< 1.7% >
(ユーロ・・・ルクセンブルク)		千ユーロ	千ユーロ	千円
KLOECKNER & CO CB 2.5%		2,400	2,397	305,417
小 計	額 面 金 額	2,400	2,397	305,417
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	< 4.2% >
ユ ー ロ 計	額 面 金 額	9,008	9,278	1,182,216
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	—	< 16.2% >

銘	柄	当 期 末		
		額面金額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(香港)		千香港ドル	千香港ドル	千円
TONG JIE LTD CB 0%		23,000	23,293	364,073
小 計	額 面 ・ 金 額	23,000	23,293	364,073
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	< 5.0% >
(シンガポール)		千シンガポールドル	千シンガポールドル	千円
KEPPEL LAND CB 1.875%		4,000	3,998	348,780
SUNTEC REAL ESTATE CB		4,000	4,059	354,066
小 計	額 面 ・ 金 額	8,000	8,057	702,847
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	< 9.6% >
合 計	額 面 ・ 金 額	—	—	4,555,453
	銘 柄 数 < 比 率 >	19	—	< 62.4% >

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

## 外国公社債

### (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	16,500	16,508	2,004,157	27.4	—	—	—	19.7
合 計	—	—	2,004,157	27.4	—	—	—	19.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

### (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期 末					償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額				
				外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円			
	国債証券	US 0.25%	29/02/16	0.25	3,000	2,999	364,171	2016/2/29
		US 0.25%	30/11/15	0.25	4,500	4,502	546,598	2015/11/30
		US 0.25%	31/10/15	0.25	2,500	2,501	303,666	2015/10/31
		US 0.25%	31/12/15	0.25	3,500	3,501	425,066	2015/12/31
		US 0.375%	31/08/15	0.375	3,000	3,003	364,655	2015/8/31
合 計							2,004,157	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2015年3月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新株予約権付社債(転換社債)	4,555,453	62.4
公社債	2,004,157	27.4
コール・ローン等、その他	746,258	10.2
投資信託財産総額	7,305,868	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(7,111,822千円)の投資信託財産総額(7,305,868千円)に対する比率は97.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=121.40円、1ユーロ=127.41円、1香港ドル=15.63円、1シンガポールドル=87.23円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年3月16日現在)

○損益の状況 (2014年3月18日～2015年3月16日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,305,868,950
コール・ローン等	633,177,707
公社債(評価額)	6,559,611,148
未収入金	89,192,509
未収利息	21,925,489
前払費用	1,962,097
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	7,305,868,950
元本	4,327,873,847
次期繰越損益金	2,977,995,103
(D) 受益権総口数	4,327,873,847口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,881円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	147,261,855
受取利息	147,261,855
(B) 有価証券売買損益	883,790,013
売買益	1,116,028,270
売買損	△ 232,238,257
(C) 保管費用等	△ 1,646,185
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,029,405,683
(E) 前期繰越損益金	2,711,970,674
(F) 追加信託差損益金	101,829,812
(G) 解約差損益金	△ 865,211,066
(H) 計(D+E+F+G)	2,977,995,103
次期繰越損益金(H)	2,977,995,103

[元本増減]

期首元本額	5,620,247,711円
期中追加設定元本額	181,600,096円
期中一部解約元本額	1,473,973,960円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・グローバルCBファンド Aコース (為替ヘッジあり)	
(適格機関投資家専用)	3,771,168,564円
シュローダー・グローバルCBファンド Bコース (為替ヘッジなし)	
(適格機関投資家専用)	556,705,283円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。